

FREE

ご自由にお持ちください。

No.800
2020 May

5

岐阜県の森林・林業

も り
森林のたより



News of the forest



森林総合教育センター(愛称morinos)完成



●詳細は3ページをご覧ください。



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
3月1日(日)~ 5月31日(日)	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに、家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL 058-273-7577

お知らせ

森林のたより4月号(No.799)において、ぎふ木遊館の開館についてお知らせしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、4月28日の開館は当面延期となりました。あわせて、オープン記念イベント(4月29日から5月6日まで)も延期となりましたのでお知らせします。



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2

森林総合教育センター(morinos)開所します 3

令和2年度 岐阜県林政部予算のあらまし 4

野鳥のヒナを拾わないで! 5

山の歳時記(17) ギョウジャニンニク 6

地域の人 下呂地域の林業を支える若者 7

シリーズ『森林・環境税』で緑豊かな清流の国ぎふづくり(1) 8

『ぎふ県政ほつとライン』の紹介 8

わかまの森・環境行政(41) 白川村の森林・環境づくり 9

山のおじさまむし(346) ナミテントウ、赤い背中に黒い星 10

木の香るぎふの施設(86) 岐阜県立大垣西高等学校 11

森林と人を活かす知恵(88) 11

プロダクトデザインからの木材利用のアプローチ 12

研究コーナー 12

『ぎふの木で家づくり支援事業』補助対象住宅の横架材利用状況 13

普及コーナー あらためて労働安全衛生規則の改正を考える 14

国有林の現場から(43) 14

二ホンシカ食害防除対策の難しさを侵入防止柵の撤去作業 16

下呂林木育種事業地の紹介〜森林づくりの緑の下の力持ち〜 17

林業者向けお知らせ 17

市況 18



表紙●5月15日(金)森林文化アカデミーにおいて、森林総合教育センター(morinos)がオープンします。

森林総合教育センター



morinos



施設全景

施設の概要

場 所	美濃市曾代地内 森林文化アカデミー内
構 造	木造平屋建て
延床面積	129㎡
木材使用量	約94㎡ (県産材：100%)

隈研吾氏による指導・助言

建築家の隈研吾氏からは、基本設計案の指導、施工図面に関する指導等を受け、昨年12月には森林文化アカデミー内の建設現場にお越しいただき、直接、現地で床材について周辺との統一を図るなどの指導や助言をいただきました。



建設現場で指導する隈研吾氏

森林教育プログラム



森のこけこっ子キャンプ

小学生を対象とした体験キャンプを通じて自然の接し方、楽しみ方を学ぶ森林教育プログラム



ロゲイニング in みの

成人グループや家族を対象に地図上のチェックポイントをチームで協力しながら制限時間内に探し出し得点を競う森林教育プログラム

森林教育プログラムの開発・実践

森林文化アカデミーでは、令和元年度は、教育機関、指導者、一般向けなど対象者別に44種類の森林教育プログラムを開発・試行しており、今年度からはmorinosを拠点として本格的に森林教育プログラムを提供してまいります。

この「森の入り口」ともいえるmorinosに森林教育プログラムの参加者が集い、すべての人が森の豊かさや楽しさを学ぶ森の体験を広め続けていきます。

皆さんもmorinosに足を運び、岐阜県の森や木の素晴らしさに触れてみませんか。

※新型コロナウイルス感染拡大により、5月15日の開所を延期しました。ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

施設の経緯

森林総合教育センター（以下、morinos（もりのす）とする）は、「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向け、幼児から大人まで「すべての人と森をつなぎ、森と暮らす楽しさと、森林文化の豊かさを次世代に伝えていく」施設です。

林業先進国であるドイツのバーデン・ヴュルテンベルク州において、多くの市民が森林への理解を深める場所である「森の家」という意味の「ハウス・デス・ヴァルデス」を参考に、森林教育の総合拠点として整備しました。

施設の特徴

建物正面には、施設の象徴として、訪れた誰もが印象に残るよう、県産材丸太の柱を「V字形」に配置し、建物のアクセントとしています。この「V字柱」は、アカデミー生により、演習林から伐採・搬出した木材で造られています。また、アカデミー演習林の土を用いて、著名な左官職人の挟土秀平氏にシンボル壁を塗って頂きました。

施設内には子どもから大人までが森林教育プログラムを体験できるオープンスペースや利用者が自由に過ごすことができるカウンタースペース、いつでも誰でも楽しむことができる図書・談話スペースなどを備えており、誰もが気軽に利用できます。



演習林で伐採するアカデミー生

【問い合わせ先】 ●森林文化アカデミー 森林総合教育センター 研修係 TEL 0575-35-3883(直通)

岐阜県林政部予算のあらまし

県林政部の一般会計における令和2年度当初予算は、一昨年発生した災害の復旧事業が一段落したこと、今年度オープンする「ぎふ木遊館」と「森林総合教育センター」の建設整備が完了したことなどから、対前年度比93.7%、金額にして13億9,451万4千円減の207億1,688万8千円となりました。しかし、令和元年度の国補正予算22億5,767万5千円を加えると229億5,936万3千円となり、対前年を若干上回る予算規模となっております。

林政部として大きく3点について重点的に取り組みます。

一つ目は「林業の担い手対策」です。

U・J・ターンによる就業促進や労働安全対策の推進などによる「新規就業者の確保・育成・定着」と林業現場へのICT技術や高性能林業機械の導入促進などによる「生産性向上に向けた「機械化」「ICT技術」等の推進」の2つの取組により深刻な状況にある林業の担い手不足へ取り組みます。

二つ目は「ぎふ木育」の推進です。

平成24年度に策定した「ぎふ木育30年ビジョン」の実現を目指し、岐阜市には、暮らしから木育にアプローチする施設として「ぎふ木遊館」を、美濃市の森林文化アカデミー内には、森から木育にアプローチする施設として「森林総合教育センター（愛称morinos）」を開所し、施設での様々な取組を通じて、森林の大切さ、森林に関わる仕事への興味・関心、更には木材の積極的な利用など、県民理解の醸成を図ります。

三つ目は「東京オリ・パラ」を契機とした県産材の販路拡大です。

東京オリンピック・パラリンピックの選手村レジジブラザを始めとした施設で県産材が活用される実績を活かし、国内外へ販路拡大を推進します。

重点施策：林業の担い手対策

1 新規就業者の確保・育成・定着

林業の深刻な担い手不足の解消を目指し、U・J・ターンによる林業への就業促進、外国人材の活用に向けた検討及び県営林の長期管理委託による新規雇用増を促進するとともに、林業分野の労働安全対策に取り組みます。

新(1)岐阜県林業就業移住支援金制度の創設 (8,000千円)

- 県内で林業に従事するために県内に移住した者を対象に、新たに移住支援金を支給

新(2)外国人材の活用に向けた講習会の開催等 (2,000千円)

- 林業事業者の経営者を対象とした技能実習制度に関する講習会や先進事例の報告会を開催するほか、林業事業者で構成する研究会において外国人材の活用に向けた検討を実施

新(3)県営林の長期管理委託による新規雇用・育成・定着の促進 (8,877千円)

- 県営林の長期管理委託により、林業事業者が事業地の安定確保を図ることで、新技術導入や森林技術者の新規雇用・育成・定着を促進

新(4)安全対策の調査分析、研修プログラム作成、講習会の開催 (1,000千円)

- 労働災害防止のため、林業事業者が行っている安全

重点施策：「ぎふ木育」の推進

3 「ぎふ木育」の推進

森林・林業に対する県民理解を醸成するため、「ぎふ木育」の総合拠点「ぎふ木遊館」、森林教育やリ・ファーマー人材育成の拠点「森林総合教育センター（愛称morinos）」を開所し、あらゆる世代の県民の方に対し、ぎふの森や木にふれあい、親しむ機会を提供します。

新(1)「ぎふ木遊館」における木育体験の提供 (5,219,500千円)

- 幼児・子どもを中心に、親や祖父母世代にも木のおもちゃや遊ぶ場所や、木工工作などの木育プログラムを提供するとともに、ぎふ木育サポーター等の人材を育成

新(2)「森林総合教育センター」におけるプログラム等の実施 (3,938,870千円)

- 幼児から大人までの幅広い世代を対象とした森林教育プログラムの開発・実践、リーダー的人材の育成等を実施。また、森のようちえん実践者等を対象とした交流会を開催

4 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした県産材の販路拡大

東京2020大会の選手村レジジブラザを始めとした施設で県産材が活用されることとなった実績を通じて高めた県産材のブランド力を活かし、国内外への販路拡大を一層促進します。

(1)県産材の輸出促進に向けた海外PRの実施 (17,360千円)

- 海外での常設展示場設置、商談会・セミナーの開催などPRを行うとともに、香港など新たな国や地域の市場調査を実施

(2)新商品開発など県産材の競争力強化・販路拡大への支援 (27,000千円)

- 新技術・新製品の開発、マーケティング調査、国内外での販路開拓等の取組を支援

(3)選手村レジジブラザでの利用後に返還される県産材の効果的な活用方法を検討 (4,729千円)

- 選手村レジジブラザの建築資材として提供した県産材の効果的な活用方法を検討

(4)公共施設や商業施設等の木造化・木質化の促進 (6,351,195千円)

- 教育・福祉などの公共施設や、コンビニ・ショッピングモールなど、民間事業者による商業・観光施設の木造化・木質化を支援

重点施策：東京オリ・パラを契機とした県産材の販路拡大

4 東京2020オリンピック・パラリンピックを契機とした県産材の販路拡大

東京2020大会の選手村レジジブラザを始めとした施設で県産材が活用されることとなった実績を通じて高めた県産材のブランド力を活かし、国内外への販路拡大を一層促進します。

(1)県産材の輸出促進に向けた海外PRの実施 (17,360千円)

- 海外での常設展示場設置、商談会・セミナーの開催などPRを行うとともに、香港など新たな国や地域の市場調査を実施

(2)新商品開発など県産材の競争力強化・販路拡大への支援 (27,000千円)

- 新技術・新製品の開発、マーケティング調査、国内外での販路開拓等の取組を支援

(3)選手村レジジブラザでの利用後に返還される県産材の効果的な活用方法を検討 (4,729千円)

- 選手村レジジブラザの建築資材として提供した県産材の効果的な活用方法を検討

(4)公共施設や商業施設等の木造化・木質化の促進 (6,351,195千円)

- 教育・福祉などの公共施設や、コンビニ・ショッピングモールなど、民間事業者による商業・観光施設の木造化・木質化を支援

新(4)林業事業者のICT技術導入に対する支援 (11,450千円)

- 森林資源の情報管理や木材生産の効率化、低コスト化を図るため、林業事業者がICT技術等を導入するための経費を助成

5 「100年先の森林づくり」

望ましい森林の姿へと誘導する

5 森林経営管理制度にかかると市町村支援

平成31年4月に始まった「森林経営管理制度」の円滑な運用に向け、市町村の支援に取り組みます。

新(1)森林経営管理制度の運用マニュアルの作成 (6,212千円)

- 制度運用に係る一連の業務をモデル事業として実施し、その成果をもとに市町村向けマニュアルを作成

(2)市町村職員研修、岐阜県地域森林監理士等の養成 (12,152千円)

- 経験年数や取組みの進度に応じた階層別研修を実施

(3)市町村等における岐阜県地域森林監理士の活用促進 (11,686千円)

- 地域の森林づくりを支える地域森林監理士を活用する際の経費を助成

(4)地籍調査結果の反映や航空レーザデータの解析による森林情報の精度向上 (87,945千円)

- 市町村による森林整備を効率的に進めるため、地籍調査等の結果を森林簿等に反映

(5)適正な管理がされていない森林の箇所抽出に向け、既存の航空レーザデータを解析し、森林資源情報を市町村へ提供

6 主伐・再造林の推進

「100年の森林づくり計画（森林配置計画）」の森林区分に基づき、計画的に森林整備を進め、再造林を推進するとともに、多様な樹種の試験的導入を実施します。

(1)将来の森林資源確保に向けた主伐・再造林への支援 (177,606千円)

- 森林資源の更新対策のため、伐採と再造林に取り組む森林所有者等を支援

(2)新たな早生樹（センダンの試験導入）(8,313千円)

- 早期の成長・収穫が期待される早生樹（センダン）の導入に向け本県の環境下での生育状況の分析・施業体系の確立等を図るため、実証試験を実施

(3)森林区分に応じた森林整備の推進 (3,891,738千円)

- 林業・環境・観光・生活といった人々の活動や自然条件等により区分した「木材生産林」「環境保全林」「観光景観林」「生活保全林」において、それぞれの目的に沿った森林整備等を支援

7 効率的な木材生産体制の強化

大型製材工場や木質バイオマスエネルギー利用施設の稼働による木材需要に応えるため、効率的な木材生産体

制の強化を図ります。

(1) 林道・林業専用道等の路網整備の推進

(2) 2,268,709千円

・効率的な木材生産や間伐等の森林整備を進めるため、市町村が行う林道の整備に対して助成することにも、基幹的な林道及び林業専用道の整備を県が代行し行う。

8 特用林産物の生産体制 販路拡大の強化

大嘗祭への供納品に選定されるなど高い評価を得ている原木しいたけ等の特用林産物を生産から販路拡大まで総合的に支援します。

新 (1) きのこ原木林再生・利用モデルの整備

(1) 6,500千円

・きのこ原木林の整備をモデル的に行い、マニュアルを作成して林業事業体へ普及

(2) 原木等生産資材の安定供給体制の確立

(4) 1,555千円

・県産材を活用した原木や菌床ブロック等生産資材の共同購入を支援

新 (3) 新規生産者への経営支援

(2) 2,000千円

・原木きのこ生産者の生産開始直後の経営安定化を図るため給付金を支給

(4) きのこの生産体制の強化

(2) 3,023千円

・きのこの生産拡大や、GAP認証製品の生産に必要な施設の整備を支援

新 (5) 特用林産物のブランド力・競争力の強化

(4) 3,000千円

・新製品の開発、国内や海外での販路開拓等の取組みを支援

環境保全を重視した

「恵みの森林づくり」

9 「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した自然環境の保全・再生

管理不足で荒廃した森林の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などにより、森林や河川の持つ公益的機能の低下が懸念されていることから、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、自然環境の保全・再生に取り組みます。

(1) 「1000年先の森林づくり」の推進

(5) 0,000千円

・奥地水源林の整備、集落近くの里山林や生活保全林の整備、危険な樹木の除去、観光振興につながる森林の総合整備等を支援

(2) 人づくり・仕組みづくり

(2) 44,913千円

・自然環境保全のための人づくり・仕組みづくりを推進するため、公共施設等の木造化・内装木質化や木製学習教材導入への支援、森と水に関する環境学習等を実施

(3) 地域のニーズに基づく環境保全活動の促進

(1) 37,000千円

10 地域団体や市町村が提案する環境保全の取組みを支援
地産地消型の木質バイオマスエネルギー利用の促進

建築資材として利用できない端材等を有効活用するため、木質資源ポイラー等の導入や、安定供給体制の構築を促進します。

(1) 木質資源ポイラー・ストープ等の導入に対する支援

(3) 5,000千円

・公共施設や多くの県民が利用する商業・観光・レジャー施設等における木質資源ポイラー・ストープ等の導入経費を助成

(2) 県民協働による未利用材の搬出に対する支援

(7) 7,000千円

・市町村、地域住民が一体となって未利用材を搬出する取組みを促進するため、地域で組織する協議会等に対して、搬出された未利用材の買い取り経費を助成します。また、未利用材の搬出・集積に要する機械導入経費を助成します。

安全・安心な森林づくり

11 森林の防災対策の強化

近年の集中豪雨等の頻発化・激甚化に対応するため、計画的に防災対策を推進し、山地防災力を強化するとともに、身近な里山においても危険木除去を行うなど、県民の安全確保に関する事業を重点的に実施します。

(1) 山地災害危険地区対策の推進

(2) 549,210千円

・県内民有林の山地災害危険地区調査を実施するとともに、治山施設設置等による予防・減災対策を実施

(2) 航空レーザ測量及びデータ解析の実施

(1) 37,538千円

・山地災害発生時の素因となる微地形を把握するため、航空レーザ測量によるデータの取得及び解析を推進

(3) 治山ストックマネジメント（予防保全的管理）の推進

(1) 43,928千円

・既存治山施設の機能を計画的に維持・強化するため、個別施設計画を策定

・土石流や流木被害に対応するため、既存ダムの増厚・高上げや流木捕捉機能の追加等を実施

(4) 林道施設の保全整備支援

(1) 8,467千円

・地域交通ネットワークの補完や災害に強い森林づくりのため、市町村が実施する橋梁等林道施設の保全整備を支援

(5) 里山における危険木除去の支援

(1) 9,680千円

・地域住民の生活環境を保全するため、集落周辺の里山における倒木危険性の高い樹木の伐採を支援

(6) 迅速な倒木処理に向けた電力会社と森林組合等との連携促進

(1) 9,680千円

・電線への倒木発生時に迅速な処理が行えるように、電力会社と森林組合等林業事業体との協力体制の構築を推進

野鳥のヒナを拾わないで！

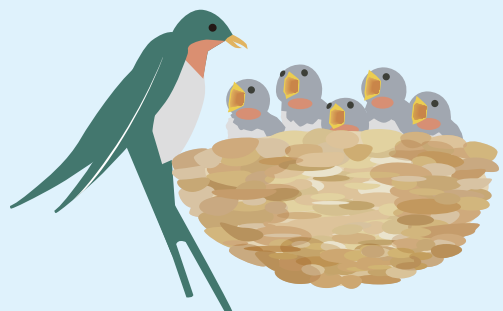
春から初夏にかけては野鳥の子育てシーズンです。勝手に野鳥を飼うことは法律で禁止されていますが、もし、人間が野鳥のヒナを拾って育てるとどうなるでしょうか。

人間は、ヒナにエサの取り方や、天敵からの身の守り方などを教えることはできません。人間に育てられたヒナは自然の中で生きる方法を知らずに育つため、二度と自然に戻れない鳥になってしまいます。

また、安易に野鳥を餌付けすると、人慣れして人間の食べ物を狙ったり、密集して感染症の拡大を招いたり、渡りの時期が狂ったり、数が増えすぎて生態系に影響を与えることもあります。安易な餌付けはしないでください。

ツバメの巣が落ちてしまった！

カップ麺の容器やザルに、ちぎった新聞紙などの代用巣材を敷いて、その中にヒナを入れ、元の巣の位置から近い場所にひもやガムテープで固定しておく方法があります。





文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

高山市清見町のお寺の庭で、ギョウジャニンニクを見つけました。

ギョウジャニンニク (Allium victorialis) はユリ科ネギ属の多年草で、深山の湿った広葉樹林内や溪谷沿いの礫地などに群生します。全草に強いニラ臭があり、若い茎葉と鱗茎は古くから山菜として好まれます。

ギョウジャニンニクの名は、修験僧がこれを食べると滋養がつきすぎて修行にならないため、特に

山ごもりの行者(修験僧)が食べることを禁じられたとする言い伝えからとか。またこれとは正反対に、山岳信仰修行中の行者がこの茎葉を食べ荒行に耐える体力と精神力をつける秘草としたため行者大蒜と名づけられたとも言われます。

群馬県の尾瀬沼では尾瀬蒜(おぜびる)、栃木県の日光二荒山では二荒蒜、京都比叡山では叡山大蒜とも呼ばれ、特に北海道ではアイヌネギとかエゾネギなどの名で親しまれています。ちなみにアイヌ語ではプクサもしくはキトと呼ばれました。

自然条件下では繁殖力が低く、春先に強い日差しが差し込む湿地で、かつ六月以降は木陰となるような場所を好みます。有毒なスズラン (Convallaria keiskei) の葉に似ており、発生時期も同じですが、ギョウジャニンニクは地際の茎表面が赤くなるのが特徴です。

タネから発芽して5年ほどは葉が一枚しか発生せず、葉が二枚に

なるまでには6〜7年、花が咲くまでには10年ほどかかります。六月には葉の間から花茎を伸ばして白い小花をつけ、七〜八月に黒色のタネが熟します。

採取する時は柔らかい若葉のみを摘み取って食します。茹でてお浸しや和え物、汁の実にすると、コクのある独特の風味を楽しめ、一度食べると忘れられませんか。昔は茎葉や鱗茎を一度茹でて、乾燥させて保存し、冬の食卓をかざる一品としました。山形県の羽黒山では「行者にんにく山伏漬」という特産品も販売されています。

ギョウジャニンニクはニンニク同様、アリシンを豊富に含んでおり、抗菌作用やビタミンB₁ 活性を持続させる効果があり、血小板凝集阻害活性のある



▲5月に花を咲かせるギョウジャニンニク

チオエーテル類も含むため、血圧の安定、視力の衰えを抑制する効果があります。

更科源蔵の『コタン生物記I』には、「流行病などがはやってくると、枕の中に入れたり、入り口や窓の所に下げて、病魔の鼻をねじりあげた」とあり、ネギ同様に猛烈なニラ臭で病魔祓いに用いました。他にも漁村などでは時化や濃霧で漁ができない時は、「流行病の神が来た」と言って、ギョウジャニンニクの茎葉を燃やしたそうです。



松井 優太さん

下呂地域の林業を支える若者

松井木材(株)

松井 優太さん

下呂地域は、戦後から積極的に人工造林が進められ、良質なヒノキの生産地「益田林業地」として発展してきました。このため、森林・林業への関心の高い森林所有者が多い地域です。

今回は、森林整備や搬出間伐のほか特殊伐採まで幅広く下呂地域で林業を展開している松井木材(株)の松井優太さん(34歳)とお話を伺いました。

Q これまでの経歴は？

松井さんは、下呂市萩原町出身で地元の高校を卒業後、岐阜県立森林文化アカデミーで林業の基礎を学びました。森林文化アカデミー卒業後、下呂総合木材市売協同組合で3年間、木材販売から買取林産の一連の業務に従事し、採材・仕分け方法等を学び、原木を見る目を養ったそうです。

その後、下呂市森林集約化協議会(効率的・計画的な森林の整備を推進するために地域の森林所有者、林業・建設業者などが協働して森林の集約化・路網整備などの支援を行う組織)で2年間、集約化等業務に従事してきました。

その間に施業プランナー育成研修を修了され、施業プランナーとしての知識を得るとともに、施業プランナー業務の経験を積まれたそうです。

次に、これまでの経験を生かし、地元建設会社(下呂林建共同企業体の構成員である「はぎわらe(株)」)内で6年間、業務に従事されました。

はぎわらe(株)では、県有林提案型施業モデル事業地等で森林整備の現場技術者、森林づくりを提案・実行・監理する施業プランナー両方の業務に従事した他、路網整備などの管理業務を通じて建設業のノウハウの実績を積みました。

現在は、実家である松井木材(株)に就職し、2年経過したところです。

Q 松井木材(株)の概要は？

松井木材(株)は、松井優太さんの父親が社長を務め、スタッフ5名が働く林業事業体です。

仕事は主に、下呂市萩原町地内で森林造成組合、森林組合などから森林整備、林産事業等の仕事を中心に請け負っています。

保有機械は、グラップル(ウインチ付き)、フォワーダ(グラップル付き)、ヒアブ付きトラック、集材機、クレーン付きトラックで年間2千m程度素材生産を行っています。

今後は、ハーベスタを導入し、素材生産量を増やしていく予定とのこと。



Q 日々の業務内容は？

チェンソーによる木材の伐倒のほか、高性能林業機械での玉切り、枝払い作業、作業道開設工事に伴う支障木伐採など様々な業務を行っています。時に、現場1つ1つ同じでないため、

その森林の状況に即して、丁寧な仕事をするよう心がけています。



Q 今後については？

地元を中心に施業地を集約化するとともに、他事業体とも連携し、小回りがきく事業体として森林整備を進めていきたいです。

●最後に

今後、森林経営管理制度の開始等に伴い、搬出間伐や主伐・再造林の事業地が更に増えていくと思われます。

松井木材(株)には地域の林業の牽引役となる「意欲と能力のある林業経営者」を目指し更なる活躍を期待するとともに、松井さんには地域の模範となるリーダー的人材として活躍されることを期待しています。

【下呂農林事務所 二階男二

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 05761521311

下呂農林事務所まで

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。



清流の国ぎふ市町村提案事業

～地域の実情に合わせた提案型事業～

清流の国ぎふ市町村提案事業は、清流の国ぎふ森林・環境税の趣旨に則り、地域住民の意向や地域の実情に精通している市町村が特に必要と考える事業を実施するものです。平成24年度からの8年間に、延べ41市町村、411事業が実施されています。

事業開始から8年が経過し、新規性や拡充性が乏しい継続事業が散見されることや、令和元年度より国の森林環境譲与税が導入されたことなどを踏まえ、この事業でしか実施できないプロジェクト的な提案を採択するため、令和2年度事業より採択要件について以下の見直しを行いました。

●採択の対象条件の見直し

事業の目的、内容等が市町村の各種計画等に位置づけられているもの、または県主要施策との関連性が高いものであることを追加

●補助金額の上限及び下限の引き上げ

【上限】 500万円 → 1,000万円 【下限】 50万円 → 森林部門：500万円、環境部門：100万円

令和2年度は、16市町がそれぞれ特色ある16事業を実施します。

■令和2年度採択事業一覧

市町名	事業名
岐阜市	岐阜市新庁舎県産木材活用事業
各務原市	アルゼンチンアリ防除対策事業
山県市	山県市自然体験事業 ～子どもから大人へ 大人から子どもへ～
岐南町	ぎなん木育フェア
輪之内町	輪之内町水環境啓発保全事業
大野町	おおの木育事業
美濃加茂市	「3つの森」森林空間活用事業
可児市	特定外来生物(オオキンケイギク)防除事業
坂祝町	アルゼンチンアリ防除対策事業
川辺町	遠見山周辺整備事業
多治見市	たじみエコカレッジ運営事業
瑞浪市	中山道琵琶峠周辺森林環境整備事業
中津川市	中津川市環境保全(仮称)事業
恵那市	笠置山再整備事業
高山市	生物多様性 特定外来生物防除事業
飛騨市	飛騨市環境保全(仮称)事業

■令和元年度実施事業



山県市 自然体験型保育事業
(市内保育園年長児を対象に、伊自良川、みやまの森にて自然体験型の保育等を実施)



恵那市 明知城跡歴史の森(仮称)整備事業
(明智光秀ゆかりの地である明知城跡において、地域住民による整備作業や木製の説明看板の設置等を実施)

【恵みの森づくり推進課 倉田 祥彦】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8472 清流の国ぎふ森林・環境税活用サポート窓口まで



毎週木曜日にぎふチャン(8ch)で放送中の「ぎふ県政ほっとライン」。
県政の話題をわかりやすく紹介しますので、ぜひご覧ください!

●放送日 毎週木曜日 18:53 ~ 18:57 (再放送 本放送直後の火曜日 21:54 ~ 21:58)

問/岐阜県庁広報課 058-272-1116

白川村の森林・環境づくり

白川村の環境施策を紹介します。



森林の概要

白川村は岐阜県の北西部に位置しており、白山を主峰とする両白山地により石川県と区切られ、北は富山県の五箇山と区切られている山村です。白川村の総面積は35,664 haで、その内森林面積は、33,957 haと約95%を森林が占めています。

森林の内訳では、国有林が約60%を占め、民有林の約9割が天然林となっており、人工林率は10%で人工林の大半がスギとなっています。

白川村の森林づくり

白川村は、第6次総合計画に基づき『日本一美しい村 白川郷』を基本目標とし美しい自然を守り活かす村づくりを目指しています。しかし、美しい景観美を見せたい村の森林も、年々枯れ木が増え、特にナラ類の立ち枯れが酷く、倒木が増えると共に、林業の衰退や労働力の高齢化による管理不足から、民有林を中心とした林地の荒廃が進んでいます。そのため、村では、森林組合等と共に、森林資源を高める方策を検討するなどして、間伐期を迎えた人工林の早急な間伐と、計画的な造林を行い、天然林については景観に影響する

箇所を重点的にナラ類等の立ち枯れ木の整備を行い、倒木による二次災害の防止と健全で美しい森林づくりを推進していきます。



三方岩

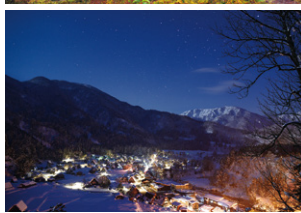
森林資源と観光の振興

白川村の合掌造りは平成7年に世界文化遺産へ登録され、今や国、及び世界の貴重な財産として高い評価を受けることとなっています。村の景観は、世界遺産合掌造りを始めとする個々の建築物だけでなく、その周囲に広がる農地や、特に背景にそびえる山々が一体となって作り出しているものです。本村としてはその風景を維持していくために、飛越峽合掌ラインからの眺望にあるナラ枯れ被害木

等の伐採と過密している人工林の間伐を観光景観整備事業により行っています。森林資源の維持増進は観光分野の面でも必要不可欠であることから、健全な森林資源を維持増進し、観光客がまた来たいと思える風景美の構築を目指しています。



合掌集落



環境学習

本村には白山国立公園を始めとした、多様な生態性を有する豊かな自然環境が残されています。そして、4県7市町村にまたがる白山国立公園は、白山ユネスコエコパークに指定されています。本村としては、登山者の安全確保のため登山道の草刈りをし、平成26年度に「白山白川郷トレイルクラブ」を組織して、環境学習の場として提供しております。



白山白川郷トレイルクラブ

木と児童のふれあい

本村では木育学習の一環として、白川郷学園の4年生を対象とした「親子木工教室」を行っています。木工を通じて木材とふれあい、木材の良さを成長期に体感してもらおうとともに、親子で協力して木工を行いふれあいを深めることを目的として行っています。

また、森林について知っていたただくために講師を招き、森林の役割についての講習をしていただきます。本村としても児童にふるさとの木・花を紹介するなど、郷土の森林への関心を高めていくことを目指しています。



木と児童のふれあい

日本一美しい村を目標に!!

白川村は、世界遺産を有する観光地ですが、その他にも「白山国立公園」や「白山白川郷ホワイトロード」等があり、自然はもちろん森林資源もとても重要な資源となります。そのような豊かな自然を活かし、適切に整備、保全することで、本村の発展にもつながっていくと思います。そのため、村の基本目標でもある「日本一美しい村」づくりを目標に林業振興を推進し、豊かな自然の維持増進を図って行きます。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0576916113(11代)

白川村役場基盤整備課農林係まで



山のおじまむし



—ナミテントウ、赤い背中に黒い星—【第346回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

2月のある日、保育園に通っている孫のYちゃんが「おじいちゃん、発表会に来てね」。私は冗談に「どうしようかな」と返事。すると、「だめ」。そして私の指をつかんで「指切りげんまん、嘘ついたら針千本飲ます」と大きな声。思わず笑みがこぼれる。この保育園には上の孫二人も通っていたので、発表会は何回も見ている。しかし、これが最後。絶対行かなければと思った。当日、開始2時間前に家族全員で出かけた。よく見える前の席を確保するためだ。そのうえ、私は双眼鏡を持参。入り口には「おひなさまっ子発表会」と大きな看板。中へ入ると大勢の人。しばらくしたら幕が上がった。そこにはたくさんの園児。先生が「〇〇ちゃん」、「〇〇君」と呼びあげると、園児は手をあげて「はい」と大きな声。しかし、返事をせずに走り出す園児もいる。それを追いかける先生。毎年見られる光景だ。双眼鏡で大寫しにされたYちゃんの顔。実に可愛かった。

× × × ×

次が園児たちの発表だ。歌、踊り、劇などいろいろある。どの園児も表情が豊かだ。Yちゃんは劇に登場した。しかし、数日前から風邪気味でカラカラ声。それでも、腹の底から大きな声を張り上げて演技をしていた。楽器による演奏にも出た。小さな打楽器を端っこで叩いていた。私から見ればわき役?に思えたが、手を交互に上げ下げして力強く叩く姿は見応えがあった。演技は次々と進んでいった。どの演技も素晴らしかった。いよいよ最後になった。3歳以上すべての園児による合唱だ。段差のある演台に並んだたくさんの園児。しかし、Yちゃんを見つることができない。そこで双眼鏡。上部の列の中央にいた。よく目立った。今度は主人公のように思えた。先生の指揮で歌い始めた。口を大きくあけて歌う園児たちの合唱。会場に響き渡った。皆は静かに聞き入っていた。あっという間に終わった。するとものすごい拍手。私も力いっぱい手をたたいた。いつまでも拍手は続いた。それにしても、この小さな園児たちをここまでにした保育園の先生は大変だっただろう。さすがプロだと思った。

× × × ×

歌い終わった園児たちは、最後に礼をして舞台から離れ始めた。一人ひとり舞台裏へと消えていった。これを見ているうちに、一瞬小さな園児たちがてんとう虫に思えてきた。なぜか集団で冬の寒さに耐えていたてんとう虫が、春の陽気に目覚めて動き出しているように映ったからである。赤い背中に黒い星のあるてんとう虫。子供たちの人気者だ。我が家の孫たちも大好きで、よく捕まえて遊んでいる。ある日、植物の幹に群がっている小さなアブラムシを食べているてんとう虫を見つけた。これが強烈だったのだろう。真剣に見ていた。すると一番上の孫が「てんとう虫は悪い虫なの」と聞いてきた。「食べられている虫が、悪

い虫なので、良いことをしているのだよ」とわかりやすく説明した。すると「家で飼う」といって虫かごの中に入れた。わが国には200種近くのとんとう虫がいる。このうち孫たちと観察したのはナミテントウ。どこでも見られるてんとう虫だ。てんとう虫の食べる餌はいろいろで、ナミテントウのような肉食性のもの、草を食べる草食性のものや菌類を食べるものなどがいる。しかし、わかっていないことも多い。てんとう虫は、わかっていないようでわからないことの多い仲間なのである。



▲交尾中のナミテントウ

× × × ×

Yちゃんが楽しみにしているのが卒園式だ。保育園を卒園すれば小学生になれると思っているからだ。ところが発表会が過ぎたころから新型コロナウイルスが日本各地に広がり、学校はほとんどが休校。卒業式を中止にしたり、当事者だけで行うところが多くなった。幸いここの保育園は開園しているので、卒園式は開かれるだろう。笑顔のYちゃん。その姿を見るのが楽しみだ。こんな時、悲しいニュースが連日報道されていた。父親がわが子を虐待して死亡させた事件の裁判である。それも小学4年生の女の子。Yちゃんと4つしか違わないではないか。この子が小さい時から虐待されていたという。学校の先生に相談。その後警察、児童相談所などが対応したものの駄目。虐待は続いた。それでも、この子は耐え続けた。苦しい毎日だっただろうと胸が詰まる。しかし、この子は強かった。虐待に耐えながら自分の未来を描き、死亡する3か月前に、自分あての手紙を書いていた。これを読んだ私は涙が流れ出た。その手紙は次の通り。

自分への手紙。〇〇さんへ。

「三月の卒業式の日。あなたは漢字もできて、理科や社会も完ぺきだと思います。十月にたてためあて、もうたっせいできましたか。五年生になってもそのままのあなたでいてください。」

そして最後はこのように書かれていた。

「未来のあなたを見たいです。あきらめないでください。」

〇年〇組 〇〇より

しかし、この子は自分の未来の姿を見ることができなかった。無念だっただろうと、また目頭が熱くなる。今は天国で、てんとう虫に混じって笑顔で歌っているのではないか。そんな光景が目に見えなかった。



岐阜県立大垣西高等学校

大垣市中曾根町大畔147-1



施設全景

施設概要

事業年度	令和元年度
事業主体	岐阜県
構造・ 延床面積	鉄筋コンクリート造 181,64㎡（図書室・司書室部分）
施設用途	図書室・司書室
木材使用量 使用樹種	47.73㎡ ヒノキ他（ぎふ証明材100%）
全体事業費	11,813千円（県有施設木質化等推進事業）
設計者	株式会社 早野設計
施工業者	泉左官住設株式会社
工期	令和元年6月10日から8月9日

施設の経緯

本校は創立40周年を迎え、長年、生徒に親しまれてきた図書室も壁の汚れや床のはがれが気になる状態になっていました。

今回の木質化工事で、壁と床に木材を使用することにより明るい雰囲気にも包まれた室内に生まれ変わりました。

またカウンターを低くし書架のレイアウトを変更したことでゆとりが生まれ、読書や学習に、滞在することを楽しめる空間となりました。



ここに注目!!

木製のカウンターには、新着図書やお勧めの本を置き、表紙を見せて生徒の興味を引くことができます。また、その木目が、図書を引き立たせる役割をしています。

利用者の様子

生徒にとって新しくなった図書室は他の教室と異なるイメージになったようで、「家みたい」と大変よろこんで入室しています。



■問い合わせ先
岐阜県立大垣西高等学校
TEL 0584-91-5611

プロダクトデザインからの

木材利用のアプローチ

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 前野 健



将来的に地域の製材所や森林組合にある、簡易な加工施設でも製作できるレベルまで製作方法を単純化していきたいと考えています。

「地元の木を生活の中で使う」という暮らしは、思った以上に家具を使う日常に満足感を感じることが出来ます。これまでに作ることが難しいと言われていた杉とヒノキの家具作りですが、視点の置き換えとデザインのアプローチの工夫によって、地域材の活用につなげられたら良いなと思います。

林業の学校でモノ作りを教えていると「杉やヒノキで家具を作れませんか？」という相談をちよくちよく受けます。要望にお応えしたい気持ちは山々ですが、自分がこれまで家具作りに使ってきた広葉樹に比べ、杉やヒノキは材質が柔らかく強度も劣ります。

杉、ヒノキで広葉樹の家具と同様の強度を出そうとすると、どうしても部材を太くする必要があります。すると強度はクリアできても、今度は見た目が野暮っしくなってしまう。仮に杉やヒノキで家具を作ったとしても、それが格好悪ければ誰も使ってはくれません。また、木材産地を経済的に潤すためには、その地域内で製造・販売できることが理想的です。どこの地域でも簡易な加工設備でも製品化ができる、杉とヒノキで出来た格好の良い家具。さあ、これを実現するとなるとなかなかの難題です。

今、実験的に取り組んでいる杉とヒノキの椅子の開発では、これらの課題をクリアできるよう、設計条件をデザイン

に落とし込みながら試作作業を進めていきます。特徴的なのは、加工工程は少なめにビスを補強に使ったりもしていること（もちろん、ビスが目立たないよう、格好悪くならないよう注意しながらです）。あえて木組みにこだわらず、合理的にかつ技術的に簡易に作ることを重視し、強度と意匠を兼ね備えたデザインというものを考えています。



隅木（すみぎ）という補強を使い、構造を強くしている。

現在、この試作品の杉とヒノキのダイニングチェアをモニター調査的に自宅を使ってみています。肌にあたる部分に杉を使っており、サラリとした感触が心地よい反面、材質は柔らかいため表面はけっこう傷だらけになりました。日常生活の中で良いなと思うのは、重さがとても軽いこと。掃除のたびに動かしても苦にならない重さです。

使っていて感じるのは、実用性に関してはいたって普通の椅子だなということです。少し軽くてキズが付きやすい、けど普通に使える椅子です。いろいろ試しながらではありますが、杉とヒノキで実用的な家具は作れますし、家具として十分に使える木だというのがここまでのトライアルでの実感です。

今後のブラッシュアップとしては、現在木組みで行っている接合部分を、より簡易的な加工方法で製作できるように仕様の改良を進めたいと考えています。専用機械を使わずに、汎用的な木工機械で、全ての加工ができる設計にすることで、



試作した杉とヒノキのダイニングチェア



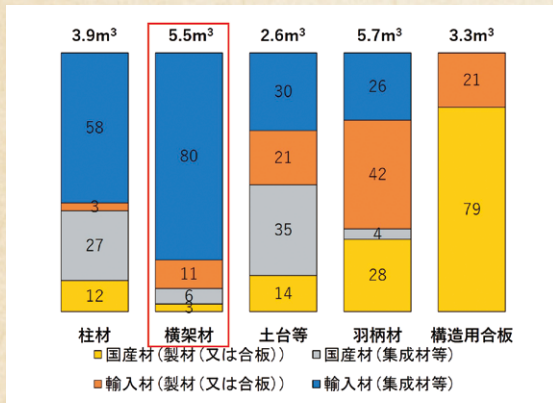


図1 木造軸組住宅における部材別木材使用割合

平成27年版森林・林業白書によれば、現在、国内の木造軸組住宅に使用される横架材（梁、桁など）は、外材の割合が非常に高く、製材、集成材等を合わせて9割以上を占めています（図1）。国内の木造住宅の横架材にもっと国産材が使用されれば、木材自給率の向上や、国内木材産業の発展につながります。

はじめに

「ぎふの木で家づくり支援事業」 補助対象住宅の横架材利用状況

森林研究所 ● 田中 健斗

ぎふの木で家づくり支援事業

現在、岐阜県林政部県産材流通課では、住宅を新築または改修する際、岐阜県産材を構造材又は内装材に一定以上使用した施主に対し助成を行う「ぎふの木で家づくり支援事業」（以下「補助事業」）を行っています。補助事業の対象となる条件は、「ぎふ性能表示材」を構造材に80%以上かつ横架材に6㎡以上使用することです。

調査の目的

補助事業の対象となった住宅は一般の住宅に比べ岐阜県産材が多く使用されていると考えられます。そこで、補助対象となった住宅で、県産材が横架材としてどの程度使用されているのかを明らかにするため、構造材に指定されている梁・桁材の樹種および材長、梁せいを調査しました。調査対象とした住宅は、平成29年度に補助事業の対象となった、県内・外の新築木造軸組住宅223棟です。

県産横架材使用状況

図2に、補助対象住宅の梁・桁材の樹種別使用割合を示します。「ぎふ性能表示材」であるスギ・ヒノキ製材の使用率は95%以上を占めていました。その他では、集成材、カラマツ、ベイマツなどが使用されていました。図3に、材長・梁せいごとの樹種別使用割合を示します。材長が5mを超えるスギ・ヒノキに代わって、集成材やベイマツ等の割合が増加することが明らかになりました。また、梁せいについても、36cmを超えると同様の傾向が見られました。

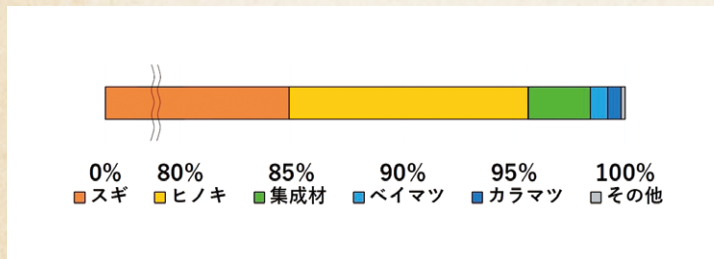


図2 梁・桁材の樹種別使用割合

おわりに

横架材の寸法が大きくなるにつれ、強度が高く、大きな梁せいを確保できる外材や集成材などの割合が増加することが分かりました。これらを県産の無垢材や集成材などに置き換えることができれば、県産材の利用率はさらに増加すると考えられます。そこで現在、県産製材を貼り合わせて製造する接着重ね材に関する研究を行っています。

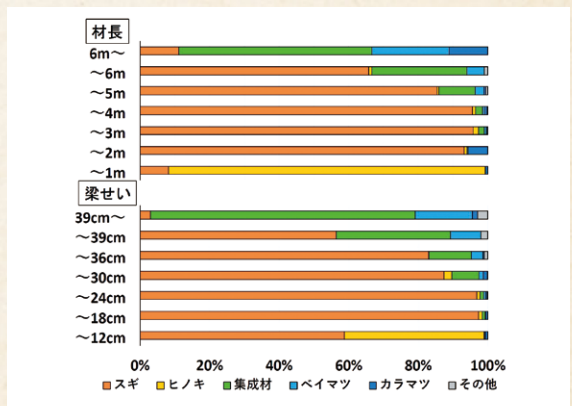


図3 材長・梁せいごとの使用樹種割合

● 詳しい内容を知りたい方は

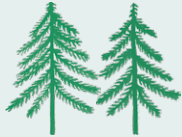
TEL 0575-331-2585

森林研究所まで





あらためて労働安全衛生規則の改正を考える



■森林文化アカデミー

森林技術開発・支援センター 林業普及指導員 上平 雄也

はじめに

皆様ご存知のとおり、昨年、労働安全衛生規則（以下、安衛則という。）が改正され、チェーンソーによる伐木等の業務に関係する規定が大きく見直されました。その中には特別教育（事業者はチェーンソーによる伐木等の業務に従事する労働者に対して、所定のカリキュラムで教育を行わなければならない。）に関するものも含まれ、従前からチェーンソーを使用している労働者に対しても補講の実施が必要になり、業界内は広く対応に追われているところではあります。

当方でも、県の林政部職員を対象とした補講を行いました。私は講師のひとりとなりましたのですが、この安衛則の改正は規定が厳しくなっただけの単純な話ではなく、事業者の姿勢が強く問われるものであると感じています。

下肢の切創防止用保護衣

令和元年8月1日以降、労働者がチェーンソーで伐木等の業務を行う場合、下肢の切創防止用保護衣（いわゆるチェーンソーパンツ等）の着用が義務付けられました。さて、この「義務」とは誰の義務なのでしょう。安衛則第485条を紐解くと、事業者には労働者に着用させる義務があり、労働者には着用する義務があることが分かります。チェーンソーパンツは毎日使うもので、汚れたり、油がしみ込んだりすることが避けられず、洗濯等のメンテナンスや定期的な買い替えが必要です。ということとは、例えば、事業者が各労働者に1本だけ与えて、「長く大事に使ってくれ。もう買わないからな」と言った場合、労働者はチェーンソーパンツの保護機能が低下しても、それを使い続けることになります。それでもし膝の切創事故が起こったとしたら、事業者は「保

護衣を着用させる義務」を果たしていたと言い切れるでしょうか。



▲保護衣のタグ表示を確認する受講者

受け口、追い口、適当な幅の切り残し

安衛則第477条第1項及び同条第2項により、胸高直径20cm以上の立木を伐倒する際は、①伐根直径の4分の1以上の深さの受け口を作る、②適当な深さの追い口を作る、③技術的に困難である場合は除き受け口と追い口の間に

適当な幅の切り残し(つる)を確保する、を遵守しなければなりません。それができていない伐倒作業は違法ということになります。(補足・必要に応じて、芯切りや、斧目を入れることは問題ありません。)また、前述の保護衣の規定と同様、事業者には労働者に①②③を行わせる義務があり、労働者にもやはり①②③を行う義務があります。

例として、胸高直径20cmの立木を、受け口を作らずに伐倒しようとしたところ、伐倒方向をコントロールできず、作業者に激突して労働災害になってしまったというケースを考えてみます。安衛則改正前であれば、災害の原因と対策を検討して「もっと安全な方法で伐倒するべきだった」と言われることでしょう。ところが、改正後はそれではすみません。「そもそも作業手順が違法だった」と見なされます。

また、あまり考えたくないことですが、労働災害に起因

する損害賠償を巡って裁判沙汰に発展することも無いとは言えません。そうなると、違法な作業をしてしまった労働者は不利になるでしょうし、その場合でも事業者が適正な伐倒について十分な指導をしていなかったのであれば、もしかすると話が変わってくるかもしれません。

なお、適正な手順で伐倒したのかどうかは、伐根を見れば分かります。山林内で他者に見られながら伐倒作業を行うことはほとんどありませんが、公の機関が発注した事業、補助事業において、違法と見



▲伐根の受け口やつるの形跡

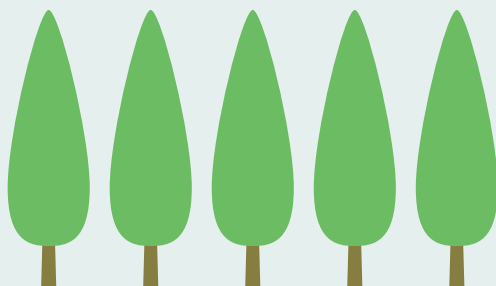
なされる作業が行われた形跡が残っているとしたら、大きな問題になり得ます。それぞれの伐根について、「適正か、違法か」が付きまわってしまうのです。

事業者はくしななければならない

他にも、かかり木処理や、伐木作業区域の立入禁止(樹高の2倍相当の距離を半径とする円形)、特別教育の統合等、追加・変更された項目がいくつもあります。実際にチェーンソー作業に従事される方は、特別教育の補講を受講する際に詳細を確認していただければよいのですが、チェーンソー作業をしない雇用主や管理職の方にこそ、今回の改正内容を熟読しておくことを強くお勧めします。林災防発生のテキストがどの職場にもあると思います。安衛則の条文に目を通してみてください。「労働者はくしななければならない」という規定よりも、「事業者はくしななければならない」という

規定の方がより多く存在することが分かります。この法律において、事業者は労働者に対して常に責任を負っているのです。

堅苦しい法律の話ばかりになってしまいました。今回、安衛則改正をきっかけにして、森林技術者の皆さんの体を守るための環境を整えていきましょう。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-351-2663

森林文化アカデミー 森林技術開発支援センターまで

ニホンジカ食害防除対策の難しさ ～侵入防止柵の撤去作業～

これまで、ニホンジカ食害防除対策については、「防除」と「捕獲」、いわば守りと攻めの効果的な組み合わせによる取り組みを模索していくことが必要ではないかと述べて参りました。

ニホンジカの「防除」策としては、忌避剤や幼齡木保護資材といった「単木的対策（一本ずつ守る方法）」のほかに、侵入防止柵に代表される「面的対策対象地域全体を守る方法」があります。後者の手法は、広範囲の植栽



▲撤去作業を実施した旧・シカ対策試験地

地をまとめて防護できることや、植栽木との接触を回避でき成長阻害のリスクが小さいことから、国有林でも多くの採用事例があります。

ところで、植栽木が大きく成長した後、これらの「防除」に使用した資材は、そのまま林内に放置しておいてよいものなのでしょうか？

● 侵入防止柵を撤去する

今般、岐阜森林管理署が管理経営する七宗国有林において、過去に設置されたニホンジカ侵入防止柵を撤去する機会がありましたので、紹介します。

当該箇所は、中部森林管理局森林技術・支援センターが、ニホンジカ防除対策の比較検証等を行う目的で設置した0.49ヘクタールの試験地ですが、別箇所と同様の展示エリアを新設した関係で、閉鎖し撤収を行う必要がありました。同試験地には、各種の幼齡木保護資材のほか、約25

m×15mの小ロットの侵入防止柵を2種、さらに周囲を囲むように立木使用網を延長約150mにわたり設置してありました。

ニホンジカの「防除」資材の撤去作業は、国有林職員においてもあまり経験のないものであることから、今回は、14名もの大人数による人海戦術を採用しましたが、写真のとおりかなりの苦戦を強いられました。



▲「立木使用網」の撤去状況

特に、斜め張りネット（いわゆる埼玉方式）は、その特徴であるシカの脚への絡みが、撤去作業をする職員の間で転倒誘因に直結するため、慎重な作業を行う必要がありました。また、当該箇所独特の事情として、平均傾斜が33度、車道からも隔離しているため、撤去した防護資材を背負って



▲苦戦する「斜め張りネット」の撤去



▲撤去した防護資材を背負って、撤出

搬出する必要もありました。「防除」資材の撤去作業の大変さについても、ニホンジカ食害防除対策の課題の1つとして、民有林の皆さんにも、是非知っていただきたいと思えます。

（岐阜森林管理署）

下呂林木育種事業地の紹介

～森林づくりの縁の下の力持ち～ 第2報

今回は下呂林木育種事業地を紹介します。

下呂林木育種事業地は、昭和28年に開設され、敷地面積は約9ha。現在、林業用のスギ・ヒノキの精英樹（成長が早い、幹がまっすぐ等優良な性質を有する品種で、昭和29年より国が自生樹の中から選抜したもの）が育成されており、県内の種苗生産組合や民間企業へ種子を配布しています。また、敷地内には、住友林業(株)が平成27年に県と締結した協定に基づき、コンテナ苗の生産施設「岐阜樹木育苗センター」を平成29年3月に整備し、コンテナ苗の生産を行っています。コンテナ苗を利用することで作業の効率化が進み、今後県内の再生林の推進に貢献することが期待されています。なお、事業地内には、県指定史跡「鎌倉街道石畳」（幅2.0m、延長80.4m）があります。鎌倉時代には既にあったと考えられる古いもので、江戸時代の飛騨郡代(代官)はここを歩いて江戸と往来していました。歴史に興味のある方は、一度訪れて見て下さい。

【山林協会 瀬上】



県指定史跡 鎌倉街道石畳 (初矢峠)

森林・林業関係イベントカレンダー (5～6月)

林業者向け

開催日	行事名等	内容等	開催場所 問い合わせ先
5月12日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20～15:00 実技 15:00～16:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員:60名(定員になり次第締め切ります。)	県森連飛騨林産物共販所(高山市新宮町112-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月15日(金)	チェーンソーを用いて 行う伐木等の業務従事者 (3～5年従事者) 安全衛生教育	●講習時間 学科・実技 9:00～16:00 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:11,700円(本代含む)(振込み) ●定 員:30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
5月20日(水)～ 5月22日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 20日 学科 8:30～17:40 21日 実技 8:30～17:30 22日 補講イ 9:00～11:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:23,650円(本代含む)(振込み) ●定 員:60名(定員になり次第締め切ります。)	県森連飛騨林産物共販所(高山市新宮町112-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月2日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間 学科 9:20～15:00 実技 15:00～16:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員:50名(定員になり次第締め切ります。)	郡上市総合文化センター(郡上市八幡町島谷207-1) 予定 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月10日(水)～ 6月12日(金)	伐木・チェーンソー 作業従事者 特別教育	●講習時間 10日 学科 8:30～17:40 11日 実技 8:30～17:30 12日 補講イ 9:00～11:30 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:23,650円(本代含む)(振込み) ●定 員:60名(定員になり次第締め切ります。)	10日(学科)・12日(補講イ) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 11日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月23日(火)～ 6月24日(水)	走行集材機械の 運転業務特別教育	●講習時間 23日 学科 9:00～16:00 24日 実技 9:00～16:00 ●申 込:開催日の10日前まで ●受講料:43,260円(本代含む)(振込み) ●定 員:30名(定員になり次第締め切ります。) 学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名以上の開催となりますので実技受講者が10名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。	23日 学科 ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 24日 実技 関市洞戸地内山林(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム 世界中で新型コロナウイルスの感染者が急速に増加しました、まさかこのような事態になるまで広がるとは思っていませんでした。引き続き不要不急の外出はひかえて、マスク着用や手洗いの徹底に加え、十分な睡眠や食事などによって免疫力を高め、感染症の予防に努めたいと思います。

そんな中、新型コロナウイルスへの感染防止策や、外出自粛要請を受け、テレワークの導入を行ったというニュースを目にする機会が増えました。テレワークは、新型コロナウイルスへの対策だけではなく、働き方改革や、公共交通機関の混雑緩和対策にも有効とされています。今後このテレワークの活用次第で働き方が変わっていくのではないかと思います。

今後、注目したいと思います。

「森林のたより」編集委員 曾我部 利幸

イベント情報

6月1日発行

連載

- 山の歳時記(178)
- 山のおじゃまむし(347)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(89)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(87)

清流の国ぎふ森林・環境税

わがまちの森林・環境行政(42)

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

6月号
予定

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所

単位:円(1m³当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1725回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	12,400	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	11,500	—		
			20~22cm	13,000	—		
			24~28cm	12,500	17,000		
			30cm以上	12,000	23,800		
	6 m	16~18cm	14,600	—			
	4月7日	ひのき	3 m	16~18cm	16,000		—
			4 m	16~22cm	17,300		—
				24~28cm	14,000		—
		6 m	24~28cm	14,200	—		
30cm以上			14,200	—			
16~18cm			22,000	—			
第1301回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,300	—		
		4 m	24~28cm	12,700	—		
			30cm以上	10,600	14,000		
	ひのき	3 m	16~18cm	17,800	—		
		4 m	20~22cm	17,300	—		
			30cm以上	14,000	37,000		
	まつ	4 m	24~28cm	9,000	—		
			30cm以上	9,000	—		
		4 m	24~28cm	13,000	—		
	4月8日	ひめこ	30cm以上	14,000	25,500		
5 m			30cm以上	21,000	29,000		
くり		4 m	24cm以上	16,000	45,000		
第1631回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	12,500	—		
		4 m	24~28cm	12,500	—		
			30cm以上元	13,200	—		
	ひのき	3 m	16~22cm	17,600	23,000		
			24~28cm	14,500	22,000		
			30cm以上元	17,500	23,000		
		4 m	13cm以下	9,000	—		
			24~28cm	15,000	21,000		
			30cm以上元	18,300	31,000		
	4月9日	まつ	6 m	18~22cm	24,000	—	
4 m			22~28cm梁	7,000	—		
			30cm以上元	9,000	—		

木材市場

【商況】

スギ4m元木良材、中目30cm以上は高値推移。40cm以上節物は低調。スギ3m並材16~28cmの需要が旺盛。スギ4m並材は潤沢な在庫を背景に弱保合。ヒノキ4m元木良材、中目選木に応札旺盛。ヒノキ並材は4m造材が有利。3m並材は需要が少なく弱含み。合板向けは潤沢な在庫を背景に、ヒノキ4mは保合、スギ4mは弱保合。製紙向けバルブ材は大手工場に定期修理予定あり、出材を計画される場合連絡ください。発電向け未利用材は継続して荷動きが活発。原木在庫は不足傾向。(岐阜)

ヒノキ、スギ共並材が多く横ばいの展開で推移。スギ40cm以上枝虫、大節等、欠点材は相変わらず売りづらく応札なし。ひめこは伐採シーズンの終盤に入り駆け込み出材が多いが横ばい。広葉樹良材は問い合わせが多く出荷願います。(飛騨)

全般的に並材(16~22cm)横ばいか、やや安値で推移。ヒノキ元木、良材2m、3m、4m(高齢材及び枝打材など(特殊材))は継続して旺盛。ヒノキ並材3m、4m(16~22cm)は、システム販売の安定供給に伴い横ばい。スギは全般的に品薄、4m元木良材は継続して旺盛。スギ並材は、3m、4m(16~28cm)長良川木協・森の合板への供給(システム販売)に伴いほぼ横ばい。ヒノキ・スギ6m材は需要減。(東濃)

製品卸売標準価格 (3月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	65,000	(2,150)	→
	間柱	3000	105	30	1等	65,000	(614)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	65,000	(2,867)	→
		3000	120	120	特等	60,000	(2,592)	→
		3000	120	120	(東濃松)特等	65,000	(2,808)	→
		6000	120	120	特等	120,000	(10,368)	→
W集ウ成ド材	柱	3000	105	105	国産5層	60,000	(1,980)	→
		3000	120	120	国産5層	61,000	(2,600)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (3月期)

1m²当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	306	米 柾	へム(アラスカ産)	292
	コースト(目荒)	324	米ひば	ポール	310

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

ラミナ

木材用語一口メモ

集成材を構成している挽き板、あるいは小角材のこと。元来、集成材は製材生産の過程で発生した側材や短尺材活用を目的としたが、今日では小径木から直接挽き板をとり人工乾燥させてラミナを量産するようになっている。

(参考)日刊木材新聞の読み方

